

非正規雇用の実態と安倍「雇用大破壊」

非正規労働者が4割に迫るもと、乱暴な雇止め、「名ばかり正社員」、ブラック企業など、劣悪な雇用と労働条件のひろがりに、政府・厚労省も非正規労働者の待遇改善の必要性を認めざるを得ないまでになっています。

ところが「世界で一番企業が活動しやすい国」をめざす安倍自公政権は改善ではなく、逆に、安定した雇用を破壊し、正社員を絞り込み、派遣労働者や解雇しやすく

低賃金の限定社員など不安定雇用を拡大する「雇用分野での大幅な規制緩和」＝「雇用大破壊」をたくらんでいます。

この学習シンポでは、非正規雇用の実態と安倍自公政権の進める雇用改悪計画の問題点を明らかにし、誰もが不安なく働き生活できる社会をつくるための方向を考えます。

会場 全労連会館ホール

(文京区湯島 2-4-4 ☎03-5842-5610)

主催 全労連非正規雇用労働者全国センター

パート臨時労組連絡会

参加費 無料

問合せは 03-5842-5611 全労連へ



許すな 雇用破壊！
均等待遇の実現を！



シンポジスト

小越洋之助さん

(国学院大学名誉教授)

○安倍雇用改革と労働者への影響

笹山尚人さん

(弁護士)

○青年や非正規労働者の深刻な雇用の実態

参加者からの発言

